

# 動き出す 関のジン

しえんたい  
子援隊

## 「困難を抱える 子どもたちの力になりたい」

今、6人に1人が相対的貧困状態にあると言われています。関市でも例外ではありません。

平成27年から実施した第4期まちづくり市民会議にて、子どもの貧困について市へ提案したグループが中心に、団体が立ち上がりました。

提案した内容は生活に困窮する家庭の子どもに対して、学力向上のための「無償学習支援」を実施すること。もう一つが、そういった子どもたちのための「子ども食堂」を開催するということです。この二つの提案が受け入れられ、平成29年度に、関市として取り組んでいくという回答をもらいました。

支援隊のみなさんは、これまで、たくさんの会議を重ねてきました。また岐阜市の円徳寺で実施している学習支援や、御嵩町の「ふしみ子ども食堂」への視察にも行き、先行事例を学び



▲広福寺で会議をするメンバー

ました。そうした中で、今年は、特にひとり親世帯の子どもを対象に、広福寺（関市西日吉町）の敷地内にある「文殊堂」にて、週1回学習支援を実施し、月1回程度、子ども食堂を実施していく予定です。

代表となる佐藤さんは「塾に行けない子たちの少しでも学力をあげるお手伝いができれば」と話します。

今後は、学習支援、子ども食堂の開催に向けて、ボランティアの募集もしていきます。「子どもに寄り添って勉強を教えてください、そして、子ども食堂で子どもに提供する料理を手伝ってくださる方を募集したい興味のある人はぜひご連絡ください」と佐藤さんは話しています。

●お問い合わせ  
子援隊  
関市市民活動センター  
0575-24-7772

## 第5期関市まちづくり市民会議中間報告

関市まちづくり市民会議の第5期が平成28年11月からはじまりました。まちづくり市民会議とは、公募で集まった市民が関市のまちづくりについて考え、市へ政策提言する取り組みです。平成29年7月の発表会に向けて、10か月間活動を行っていきます。第5期では、第4期から継続して、市民の実行に重視して活動しています。

2回目・3回目の会議では、課題の深堀をしました。

実際に対象となる地域の調査や、事業のテスト実行を行うことで、より課題へのアプローチ方法が明瞭となり、市への提言力が高まります。



### めざせ! 体験型商店街!チーム

(1) 目指す関市の姿

→関市周辺に住む小学生とその親が、店主や店員の仕事に興味を持ち、繰り返し訪れ、心のよりどころになる

(2) 現状・課題

→大人も子供の商店街の魅力を知らないことや、人・車が危ないという理由で子どもの行動を制限している

### 新入生 いらっしやいチーム

(1) 目指す関市の姿

→関市外出身で大学進学を機に関市に住み始めた18・19歳の新入生が、「衣・食・住」と人との交流が充実した学生生活を送れる

(2) 現状・課題

→関市で充実した生活を送れる場所も少なく、第学生自身も知らず、知る機会(手段)もない

### 小瀬観光協会(仮)チーム

(1) 目指す関市の姿

→60～70代の夫婦が、グルメ・健康・古代のロマンを楽しめる

(2) 現状・課題

→鶺鴒、弥勒寺、円空のある瀬尻地域を一部の人にしか知られていない